

旧和楽荘が生まれ変わりました

「療育サポートプラザ」が3月29日(日)宮西連区の北丹町の旧和楽荘跡にオープンしました。育児や発達についての相談、障害のある方の昼間の活動、障害のある方やご家族のグループ活動などにご利用いただくための施設です。

養護老人ホーム和楽荘がこの場所に建築されたのは昭和55年のことです。長い間、主に身寄りのないお年寄りの生活の場として利用されてきましたが、平成17年4月、民営化にともない、萩原町に移転することになりました。北丹町に残った旧和楽荘の土地建物はかなりの広さがあり、何かほかの事業に有効活用できないかと考えました。

活用方法にさまざまなご意見・ご要望などをいただきましたが、障害のある方が昼間通所できる場所が足りないこと、障害のある方やご家族のグループが活動場所の確保に苦労されていることなどから、こういった方たちの支援施設として活用することとしました。土地建物の整備や事業の運営は、提案を公募して最も優れた事業者を決めるコンペ方式で選定し、社会福祉法人榎の木福祉会にお願いすることになりました。榎の木福祉会は大徳連区の富田にあり、知的障害者入所更生施設「かしの木の里」に本拠を置き、昭和56年から尾西地区を中心に、障害のある方への支援に熱心に取り組んできた実績があります。

療育サポートプラザの主な事業を簡単に説明します。

子どもの発達が心配な方の相談

毎週火・金曜日に療育サポート事業を開催します。育児をしていて育てにくいと感じている場合や、保育園や学校の生活になじめず戸惑っている場合、その子の個性に合わせた対応や環境を整えることで、気になることが少しずつ改善していきます。ここでは知的障害や発達障害のある子へのかかわりに精通した相談員が、ご家族からの相談に応じます。遊びや学習を通して、その子に合った生活の仕方やサービスの利用などをアドバイスします。子育てに悩んでいるご家庭の力になればと考えています。

部屋の貸し出し

障害のある方・子ども、障害が心配な子を持つ方のグループに、無料で部屋を貸し出します。語らいや交流など、さまざまな活動の場にご利用いただきたいと思えます。

活動の場・働く場の提供

障害のある方が昼間通所できる場所を開設します。障害のある方が働く場所として喫茶店や雑貨店もオープンする予定です。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

広い庭には樹木や芝生を植え、市民の憩いや交流の場所として利用できる

ように整備しました。施設が開館している時間帯は庭に入りますので、できます。ただし、さまざまな障害のある方がおいでになりますので、ペットを連れての利用はご遠慮いただきますようお願いいたします。

この施設は障害のある方もない方も、自然な形で共に過ごすことができるよう配慮されています。多くの方に利用され愛されて、ここでの取り組みがほかの地域や場面にも広がり、わたしたちの一宮市が、誰もがひとりの人間として尊重しあい、地域の中で共に育ち、いきいきと暮らせるまちになっていくことを願っています。

「療育サポートプラザ」では不要になった木白やきね、農機具などを寄付していただける方を探しています。お心当たりのある方は、療育サポートプラザ(☎(28)8288)または福祉課(☎(28)9134)へご連絡ください。

療育サポートプラザ

